



2011.10.27

根子岳



根子岳



杵島岳











米塚



遠くに普賢岳



草千里と烏帽子岳 (海拔1,337m)

目前に広がる草原は「草千里」と呼ばれ、烏帽子岳の側火山として活動した千里ヶ浜火山の火口跡です。千里ヶ浜は浅い二重の火口で直径約1kmに達します。内側の火口は草千里の東側凹地で、南北に約500m、東西に約250mのだ円形をしています。草千里中央の小高い丘は「駒立」といい、内側火口の縁の一部です。

この一帯は、芝生のような草地になっていますが、これは昔から放牧地として利用され、牛や馬が長くなる草を食べ続けているからです。

春、麓に放された牛馬は、夏になると涼しさと草を求めてこのあたりに集まってきます。そして、秋風が冷たくなるころ、飼い主に連れられて帰って行きます。この雄大な自然の中で牛馬がのびのびと生きてゆく姿は、そのまま阿蘇の風物詩のひとつになっています。

草千里の背後にそびえる山は、阿蘇五岳の一つに数えられる「烏帽子岳」です。登りやすい山で、頂上からは360度の展望が開けます。眼下には、北に阿蘇谷、南に南郷谷、遠くには九重山や雲仙岳を眺望できます。このことから別名「国見山」ともいわれています。

Kusasenri and Eboshidake

The extensive grassland in front of you is called the Grassland of a Thousand Ri-or Miles(Kusasenri)-and is the dormant floor of an ancient crater. This beautiful pastoral setting in which cows and horses graze is one of the best-known and much-loved scenes of Aso. The mountain rising high behind Kusasenri is Eboshidake

쿠사센리 (草千里) 와 에보시다케 (烏帽子岳)

눈앞에 펼쳐진 초원은 「쿠사센리 (草千里)」라고 불리는 화구유적입니다. 이 웅대한 자연속에 소와 말이 방목되어 있는 풍경은 아소 풍물시의 하나입니다. 쿠사센리 뒤에 우뚝 솟은 산은 에보시다케 (烏帽子岳)입니다.

草千里与乌帽子岳

展现在您眼前的草原被称为“草千里”，它是一个火山口的遗迹。在这雄伟壮观的大自然中，牛马悠闲地品味着牧草。其景色是阿苏绝景之一。耸立于草千里背后的山岳是“乌帽子岳”。



環境省・熊本県



米塚



米塚とカルデラ内壁

眼下に見えるおわんを伏せたような山が「米塚」です。
この山は、右手に見える杵島岳・往生岳の側火山で、頂上に直径約100m、深さ約20mの火口跡があります。

米塚の麓から頂上にかけて一本の線が見えますが、これは、牧草地の境界として築かれた土手で、阿蘇では「土壁」と呼んでいます。

その向こうに、同じ高さでびょうぶのように連なった山が見えます。これは、世界最大級のかん没カルデラ内壁にあたるところで、普通「外輪山」と呼ばれています。このカルデラは、南北約25km、東西約18km、周囲約128kmの大きなだ円形をしています。その中に、中央火口丘群が東西に連なってそびえ、火口原を北側の阿蘇谷と南側の南郷谷に分けています。

阿蘇に降った雨は、阿蘇谷の黒川、南郷谷の白川を流れ、左手前方の外輪山が切れたところ(立野火口瀬)で合流します。その後は、白川となり、熊本平野をへて、有明海にそそいでいます。

Komezuka and the Caldera Wall

The large hill below, shaped like a rice bowl turned upside-down, is called Komezuka. The line of mountains like a long screen in the distant background is actually the inner wall of the world's largest caldera which was formed 100,000 years ago when the region subsided. This outer rim or somma is of an oval shape extending some 24 kilometers north to south and 18 kilometers east to west, with a circumference of about 128 kilometers.

코메츠키 (米塚) 와 칼데라 (Caldera) 내벽

눈 밑에 보이는 밥공기를 엮은 듯한 산이 코메츠키 (米塚) 입니다. 그 뒤에 같은 높이의 병풍같이 펼쳐진 산은 세계 최대의 함몰 칼데라 내벽에 해당하는 곳으로 보통 「가이린산 (外輪山)」으로 불립니다. 이 칼데라는 남북 약 24 km, 동서 약 18 km, 둘레 약 128 km의 커다란 원형입니다.

米塚与重叠式火山脉内陡壁

眼前的那座酷似一个倒扣着的大碗的山丘叫做“米塚”。而环绕着“米塚”的“外轮山”是火山爆发后下沉而形成的，与“米塚”海拔相同。是世界最大规模的重叠式火山脉的内陡壁，它南北长约24公里，东西长约18公里，是一个方面约为128公里的巨大椭圆。



環境省・熊本県











← 草千里ヶ浜

中岳・火口 1.5Km →

























大観峰





大観峰

阿蘇の五岳

高岳

中岳

烏帽子岳

杵島岳

岳

















外輪山



阿蘇五岳



根子岳&高岳















